



# 平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月9日

上場会社名 武蔵野興業株式会社  
 コード番号 9635 URL <http://www.musashino-k.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河野 義勝  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 山崎 雄司  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 03-3352-1439

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	434	29.3	37	58.9	41	53.7	26	35.3
29年3月期第1四半期	336	26.7	23	47.7	27	46.3	19	53.3

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 27百万円 (44.7%) 29年3月期第1四半期 19百万円 (55.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	2.58	
29年3月期第1四半期	1.91	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	6,175	3,556	57.6	339.80
29年3月期	6,230	3,529	56.6	337.17

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 3,556百万円 29年3月期 3,529百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		0.00	0.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	765	17.9	30	0.0	35	7.9	25	10.7	2.39
通期	1,570	9.6	70	84.2	75	50.0	55	29.5	5.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	10,500,000 株	29年3月期	10,500,000 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	34,141 株	29年3月期	33,178 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	10,466,581 株	29年3月期1Q	10,467,219 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の基準に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、世界の政治情勢の先行き不透明感は引き続き残るものの、大手製造業を中心に景気は緩やかな回復基調の気運があり、個人消費も持ち直しが期待されます。このような状況のもと、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、映画事業部門におきましては、全面改装した「新宿武蔵野館」が好稼働したものの、「シネマカリテ」と映画配給関連事業は営業利益の確保に至らず、セグメント損失を計上いたしました。一方で、不動産事業部門と自動車教習事業部門におきましては業績は堅調に推移し、前年同期を上回る営業成績を確保いたしました。以上のことから、全体として売上高は4億3千4百万円（前年同期比29.3%増）、営業利益は3千7百万円（前年同期比58.9%増）、経常利益は4千1百万円（前年同期比53.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2千6百万円（前年同期比35.3%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間のセグメント情報ごとの業績の状況は以下の通りであります。

（「生産、受注及び販売の状況」については、当社は映画事業や不動産事業を中心に業態を形成しており、受注・販売形式の営業活動は行っておりません。販売の状況については、下記に示したセグメント情報ごとの業績の状況をご参照ください。）

## （映画事業部門）

平成28年11月にリニューアルオープンした「新宿武蔵野館」では、『マンチェスター・バイ・ザ・シー』『イップ・マン 継承』、またシネマカリテでは、『スウィート17モンスター』『ジェーン・ドウの解剖』等、ジャンルに拘らないバラエティに富んだ作品を選びすぐり上映したものの、シネマカリテにおける映画興行収入の減少や映画配給関連事業に係る営業費用の発生もあり、部門全体の売上高は1億5千9百万円（前年同期比119.4%増）、セグメント損失は1千9百万円（前年同期は9百万円のセグメント損失）となりました。

## （不動産事業部門）

賃貸部門におきましては、テナントビルの入居・管理状況も概ね安定的に推移し、営業成績は前年同期を上回りました。販売部門におきましては、当第1四半期連結累計期間におきましても具体的な営業活動の実績を計上するに至らず、業界の動向に気を配るに止まりました。その結果、部門全体の売上高は1億4千3百万円（前年同期比19.0%増）、セグメント利益は9千2百万円（前年同期比61.4%増）となりました。

## （自動車教習事業部門）

主として高校生による運転免許取得需要の時期も一段落いたしました。営業成績は若干前年同期の実績を上回りました。その結果、部門全体の売上高は1億7百万円（前年同期比1.5%増）、セグメント利益は3千1百万円（前年同期比2.2%増）となりました。

## （商事事業部門）

東京都目黒区において経営委託している飲食店は、店舗形態の変更による好況も一段落し、営業成績は前年同期を下回りました。なお、住宅資材の販売につきましては、平成28年10月をもちまして取引を終了しております。その結果、部門全体の売上高は2千1百万円（前年同期比37.9%減）、セグメント利益は1百万円（前年同期比14.6%増）となりました。

## （その他）

主としてマクミラン・アリスの著作権手数料や自販機手数料であります。部門全体の売上高は2百万円（前年同期比8.7%増）、セグメント利益は0百万円（前年同期比53.5%減）となりました。

※ スポーツ・レジャー事業部門は営業中止中であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、主として消費税等の還付による流動資産の減少や減価償却による固定資産の減少があり、前連結会計年度末に比べ5千4百万円減の61億7千5百万円となりました。

負債合計は、有利子負債の返済を進めたことなどから、前連結会計年度末に比べ8千1百万円減の26億1千9百万円となりました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が増加し、前連結会計年度末に比べ2千7百万円増の35億5千6百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期の業績は、不動産事業部門、自動車教習事業部門において堅調な営業成績を収めることができましたが、第2四半期におきまして、自動車教習事業部門における新規教習生獲得数の減少が予想されるなど、今後の収益への影響を現在精査中であるため、現段階におきましては、平成29年5月15日に公表した平成30年3月期の連結業績予想の数値に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	572,108	572,416
受取手形及び売掛金	47,762	40,154
たな卸資産	1,722	1,606
繰延税金資産	22,775	22,775
その他	77,975	51,679
貸倒引当金	△740	△28
流動資産合計	721,605	688,603
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	787,395	773,324
機械装置及び運搬具(純額)	39,544	35,466
工具、器具及び備品(純額)	29,698	28,284
土地	3,904,167	3,904,167
リース資産(純額)	95,862	89,251
有形固定資産合計	4,856,668	4,830,494
無形固定資産		
借地権	67,260	67,260
その他	11,858	12,012
無形固定資産合計	79,118	79,272
投資その他の資産		
投資有価証券	422,480	426,841
繰延税金資産	12,173	12,173
敷金及び保証金	89,146	89,146
その他	53,569	53,627
貸倒引当金	△4,607	△4,607
投資その他の資産合計	572,762	577,181
固定資産合計	5,508,549	5,486,948
資産合計	6,230,154	6,175,551

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	88,010	88,399
短期借入金	133,548	118,548
リース債務	25,943	25,442
未払法人税等	49,658	16,371
賞与引当金	11,222	20,127
その他	274,170	255,280
流動負債合計	582,553	524,168
固定負債		
長期借入金	220,883	202,496
リース債務	69,919	63,809
役員退職慰労引当金	8,906	8,906
退職給付に係る負債	113,690	114,462
長期預り敷金	614,246	614,246
再評価に係る繰延税金負債	1,082,196	1,082,196
その他	8,696	8,957
固定負債合計	2,118,539	2,095,075
負債合計	2,701,093	2,619,244
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,004,500	1,004,500
利益剰余金	78,505	105,493
自己株式	△7,943	△8,195
株主資本合計	1,075,062	1,101,798
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,914	2,424
土地再評価差額金	2,452,083	2,452,083
その他の包括利益累計額合計	2,453,998	2,454,508
純資産合計	3,529,061	3,556,307
負債純資産合計	6,230,154	6,175,551

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	336,283	434,828
売上原価	148,916	235,439
売上総利益	187,366	199,388
販売費及び一般管理費	163,464	161,407
営業利益	23,902	37,981
営業外収益		
受取利息及び配当金	41	2,453
持分法による投資利益	7,533	3,656
その他	226	1,774
営業外収益合計	7,801	7,884
営業外費用		
支払利息	1,045	674
遊休資産維持管理費用	3,248	3,252
その他	239	164
営業外費用合計	4,533	4,091
経常利益	27,170	41,773
税金等調整前四半期純利益	27,170	41,773
法人税、住民税及び事業税	7,230	14,785
法人税等合計	7,230	14,785
四半期純利益	19,940	26,988
親会社株主に帰属する四半期純利益	19,940	26,988



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	19,940	26,988
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△938	510
その他の包括利益合計	△938	510
四半期包括利益	19,001	27,498
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,001	27,498

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他	合計
	映画事業	不動産事業	自動車教習事業	商事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	72,931	120,789	105,653	34,978	334,353	1,929	336,283
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	17,604	—	—	17,604	—	17,604
計	72,931	138,393	105,653	34,978	351,957	1,929	353,887
セグメント利益又は損失(△)	△9,489	57,337	30,782	1,719	80,349	1,422	81,772

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、版權事業その他であります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	80,349
「その他」の区分の利益	1,422
セグメント間取引消去	1
全社費用(注)	△57,871
四半期連結損益計算書の営業利益	23,902

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 4. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他	合計
	映画事業	不動産事業	自動車教習事業	商事事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	159,983	143,780	107,256	21,712	432,732	2,096	434,828
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	17,604	—	—	17,604	—	17,604
計	159,983	161,384	107,256	21,712	450,336	2,096	452,432
セグメント利益又は損失(△)	△19,719	92,515	31,462	1,970	106,228	661	106,890

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、著作権事業その他であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	106,228
「その他」の区分の利益	661
セグメント間取引消去	701
全社費用(注)	△69,610
四半期連結損益計算書の営業利益	37,981

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとの資産に関する情報  
該当事項はありません。